若手職員が新たな施策を提言！

「新しい生活様式」対応型

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2020

トライアル編報告会を開催します

ターゲット：17．17

令和３年２月 12 日
郡山市政策開発部
政策開発課
担当：高橋　諒
TEL：924－2021

SDGs ターゲット 17.17「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

当研究塾は、昨年 10 月のリサーチ編報告会以降、提案内容の試行に取り組んでまいりました。その報告会を下記の通り開催いたします。

1　日　時　　２月 18 日(木)　午前 10 時 30 分 ～ 正午

2　場　所　　市役所特別会議室（本庁舎２階）

3　手　法　　こおりやま広域圏 16 市町村をオンラインで結び開催

市 YouTube チャンネル（郡山市役所 Koriyama City）でご覧いただけます。

URL：https://youtu.be/f4cE7wG3yyU

4　参集者　　郡山市長（塾長）、特別職及び部局長

※こおりやま広域圏関係市町村長及び職員はオンラインでの参加。

こおりやま広域圏の若手職員 24 名

※詳細は、別紙「塾生一覧」をご参照ください。

5　発表テーマ　【まち分野】

公共交通によるマイクロツーリズムと地域の魅力発信について

【ひと分野】

若年層をターゲットにしたゆるやかな関係人口の創出について

【しごと分野】

体験型官民連携の場づくりによる自助･共助･公助の地域課題解決について

【ＤＸ分野】

体験型・デマンド型オンライン観光によるＤＸの促進について

※ 提案の概要は、別紙のとおりです。

チャレンジ「新発想」研究塾の詳細は、別紙をご参照ください。

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2020　トライアル編試行概要

（※現時点での概要であり、追加・変更となる場合があります。）

1班	**【まち分野】公共交通によるマイクロツーリズムと地域の魅力発信について**
リサーチ編 提案内容	[課題] ・モータリゼーションの進展及び通勤通学利用者の減少、維持に係るコストの増大。 ・バス路線の縮小や廃止が余儀なくされている。 [提案内容] ・「バス停」に着目したマイクロ“バス”ツーリズムを提案。 ①バス停ガイドブック　②バス停デジタルスタンプラリー ③バス停フォトコンテスト　④野菜等を運ぶ貨客混載 ※貨客混載とは…貨物と乗客の輸送を一緒に行う形態。規制見直しにより一定の条件で貨客混載が可能に。
トライアル編 試行概要	[試行内容] ・乗客と野菜等を乗せ実際に貸切バスを走らせる貨客混載トライアル。 ・農場とまちなかを結び、野菜等を運ぶトライアルに併せて、野菜等の試食・販売イベントを実施予定。 [実施予定] ・３月上旬
2班	**【ひと分野】若年層をターゲットにしたゆるやかな関係人口の創出について**
リサーチ編 提案内容	[課題] ・これからを担う世代（特に 20 歳代）の転出超過による地域の担い手不足。 ・近年、首都圏の若者の地方への関心が増加傾向にあるが、その需要を受け止める準備ができてない [提案内容] ・『ゆるっ人』：地域内外の若者が地域の気軽なお手伝いを通して、こおりやま広域圏を知る・来る・関わる機会を提供。 ・『きらっ人』：お手伝いを提供するこおりやま広域圏の人々の「魅力向上」と関係人口の「理解醸成」により、地域外の若者との交流に向けた土台作り。
トライアル編 試行概要	[試行内容] ・こおりやま広域圏を舞台に飲食店や温泉旅館等の簡単なお手伝いを広域圏内の学生が体験（三春町で開催予定）。 ・参加した学生に新たに関係人口となってもらうとともに、SNS を活用した発信により、新たなファン獲得を誘発。 [実施予定] ・３月中旬

<table>
<tr><td>３班</td><td>【しごと分野】体験型官民連携の場づくりによる自助･共助･公助の地域課題解決について</td></tr>
<tr><td>リサーチ編
提案内容</td><td>［課題］
・地域の抱える課題は、多様化・複雑化しており、自治体単独での解決には限界がある。
・新しい生活様式に対応した働き方改革も迫られているが、対応が追いついていない現状。
［提案内容］
・『自治体クエスト』：自治体と民間企業等が共通課題への挑戦を通じて相互に理解・協力し、課題解決に取り組む仕組み。
・『コーイキングスペース』：自治体職員のサテライトオフィス兼公民が集いクエストを誘発する場所。</td></tr>
<tr><td>トライアル編
試行概要</td><td>［試行内容］
『自治体クエスト』の開催
・「食品ロス削減」をテーマに公民連携・協奏による課題解決に挑戦。
・こおりやま広域圏内の子ども世代をはじめ、一般消費者に対して食品ロス問題を意識させる啓発物を制作。

『コーイキングスペース』の設置
・自治体職員のサテライトオフィス兼公民が集う場所として期間限定で設置。
場所：郡山市民プラザ　多目的ルーム（ビッグアイ内６階）
期間：令和２年 12 月８日(火)～令和３年１月 29 日(金)
 </td></tr>
<tr><td>４班</td><td>【ＤＸ分野】体験型・デマンド型オンライン観光によるＤＸの促進について</td></tr>
<tr><td>リサーチ編
提案内容</td><td>［課題］
・コロナ禍において国内旅行者数及び消費額が４～６月の前年同月比で約８割減少しており、地域経済停滞の深刻化が懸念。
・地域観光に求められるコンテンツも多様化してくると予測。
［提案内容］
・体験型コンテンツの提供や利用者の趣味趣向を分析しおすすめの観光ツアーをオンデマンドに提案するツール「こおりやま Wide area ＦＵＮ！倶楽部」などを構築</td></tr>
<tr><td>トライアル編
試行概要</td><td>［試行内容］
・作成したデモツアーで参加者を募り、モニターを行うことで、ツアーのブラッシュアップ、ニーズ分析を行い、利用者・コンテンツ提供者双方をつなぐツアー造成を目指す実証実験。

［実施予定］
・３月上旬</td></tr>
</table>

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2020　研究塾生一覧

①　まち分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな
1	郡山市	建設交通部　総合交通政策課	主事	原　貴史	はら　たかふみ
2	須賀川市	企画政策部　企画政策課	主事	相川　貴之	あいかわ　たかゆき
3	二本松市	総務部　秘書政策課	主事	永久保　早紀	ながくぼ　さき
4	田村市	市民部　税務課	主事	遠藤　慶記	えんどう　よしき
5	田村市	大越行政局	副主査	二瓶　幸也	にへい　ゆきや
6	石川町	企画商工課	主事	古寺　里冴	こでら　りさ

②　ひと分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな
1	郡山市	市民部　市民・ＮＰＯ活動推進課	主査	秋元　貴亜樹	あきもと　たかあき
2	郡山市	議会事務局　総務議事課	主事	今野　遼太	こんの　りょうた
3	田村市	保健福祉部　社会福祉課	主事	岩崎　祐衣	いわさき　ゆい
4	本宮市	白沢総合支所　市民福祉課	副主査	橋本　拓郎	はしもと　たくろう
5	大玉村	総務部　政策推進課	主事	増子　光	ましこ　ひかる
6	三春町	生涯学習課	主事	長谷川　未智瑠	はせがわ　みちる

③　しごと分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな
1	郡山市	総務部　職員厚生課	主事	高岡　景	たかおか　けい
2	田村市	市民部　生活環境課	主事	大川原　一博	おおかわら　かずひろ
3	本宮市	放射能除染･モニタリングセンター	主事	高橋　亮	たかはし　りょう
4	鏡石町	産業課	副主査	仲沼　諒	なかぬま　りょう
5	石川町	農政課	主事	小豆畑　裕	あずはた　ひろし
6	小野町	町民生活課	主事	大和田　和	おおわだ　なごみ

④　ＤＸ分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな
1	郡山市	保健福祉部　生活支援課	主事	遠藤　瑞己	えんどう　みずき
2	郡山市	保健福祉部　健康長寿課	主事	會田　智恵	あいた　ちえ
3	田村市	市民部　生活環境課	主事	橋本　桂吾	はしもと　けいご
4	鏡石町	総務課	主事	増川　夕夏	ますかわ　ゆか
5	石川町	企画商工課	主事	矢内　翔太	やない　しょうた
6	小野町	健康福祉課	主事	吉田　浩太朗	よしだ　こうたろう

「新しい生活様式」対応型こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾２０２０について

1　チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上を目的とした研究塾です。

2　研究塾２０２０のポイント

（１）「こおりやま広域連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員 24 名で圏域全体の課題解決に挑戦。
（郡山市６名、須賀川市１名、二本松市１名、田村市５名、本宮市２名、大玉村１名、鏡石町２名、石川町３名、三春町１名、小野町２名）

（２）「新しい生活様式」に対応するため、オンラインを中心とした手法で調査研究を実施。

（３）提言内容の具現化に向けた試行の実施。

（４）研究分野【広域連携で解決すべき課題への取組み】
①まち分野（一度都会に出ても戻って暮らしたくなる魅力的な地域づくり）
②ひと分野（ひとの縁を結び、まちを元気にする交流の活性化）
③しごと分野（多様な人材の活用を支援し、地域の活力維持に繋がるしごとの創生）
④ＤＸ分野（Society5.0、５Ｇ時代に対応したﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ(DX)の推進）

3　メンバーの構成

（１）年齢　概ね 35 歳以下の職員（令和２年４月１日現在）※公募により研究生を募集

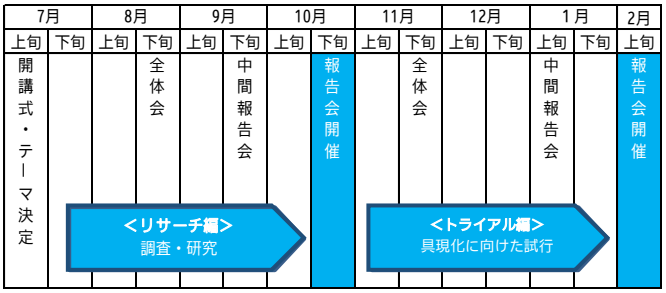
（２）構成　・班構成：１班６名（班長１名、副班長１名、班員４名）
・班　数：４班
・研究塾の代表・副代表各１名を選任（班長・副班長以外から選出）

4　進め方・スケジュール

（１）研究テーマの設定

（２）討議（調査研究）：週１回程度、
・ウェブ会議を中心に実施（２時間程度、原則水曜日）

（３）報告会の実施
・リサーチ編：10 月、トライアル編：２月



5　研究成果

（１）調査研究のまとめ及び報告書の提出

（２）報告会の実施（YouTube での配信）

（３）事業化に向けた関係部局との調整

【参考：これまでの成果】
・イクメンハンドブックの発行　・育パパサポート奨励事業　・移住・定住ポータルサイトの開設
・官民連携ポータルサイトの開設　・広域圏での業務連携（「令和元年東日本台風」での相互応援）